

総務環境委員会説明資料

観光文化交流局（仮称）の素案について

平成27年11月6日

総 務 局

目 次

1	基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・	1 頁
2	所管領域・役割の概要・・・・・・・・・・・・	2 頁
3	組織イメージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 頁

1 基本的な考え方

(1) 設置の背景

平成39年度に予定されているリニア中央新幹線の開業では、経済規模の大きな首都圏に経済活動や人口が吸い取られるストロー現象が懸念されている一方で、リニア中央新幹線の開業や平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、人々の交流が活発になることが予測されている。

また、グローバル化が進展し、国際的な都市間競争が激化する中で、競争力強化が求められている。



名古屋に行ってみたいと思わせるような都市の魅力を高め、文化、観光などにおける交流の拡大につなげていくための施策を総合的に推進していく体制が必要である。

(2) 目的

都市魅力を戦略的かつ一体的に発信して名古屋の認知度及びイメージ向上を図るとともに、文化や歴史をはじめとする名古屋の魅力の向上を図ることにより、観光など国内外との交流を促進する。

(3) 役割

ア 都市魅力の総合的な調整及び発信

イ 観光、文化及び国際交流

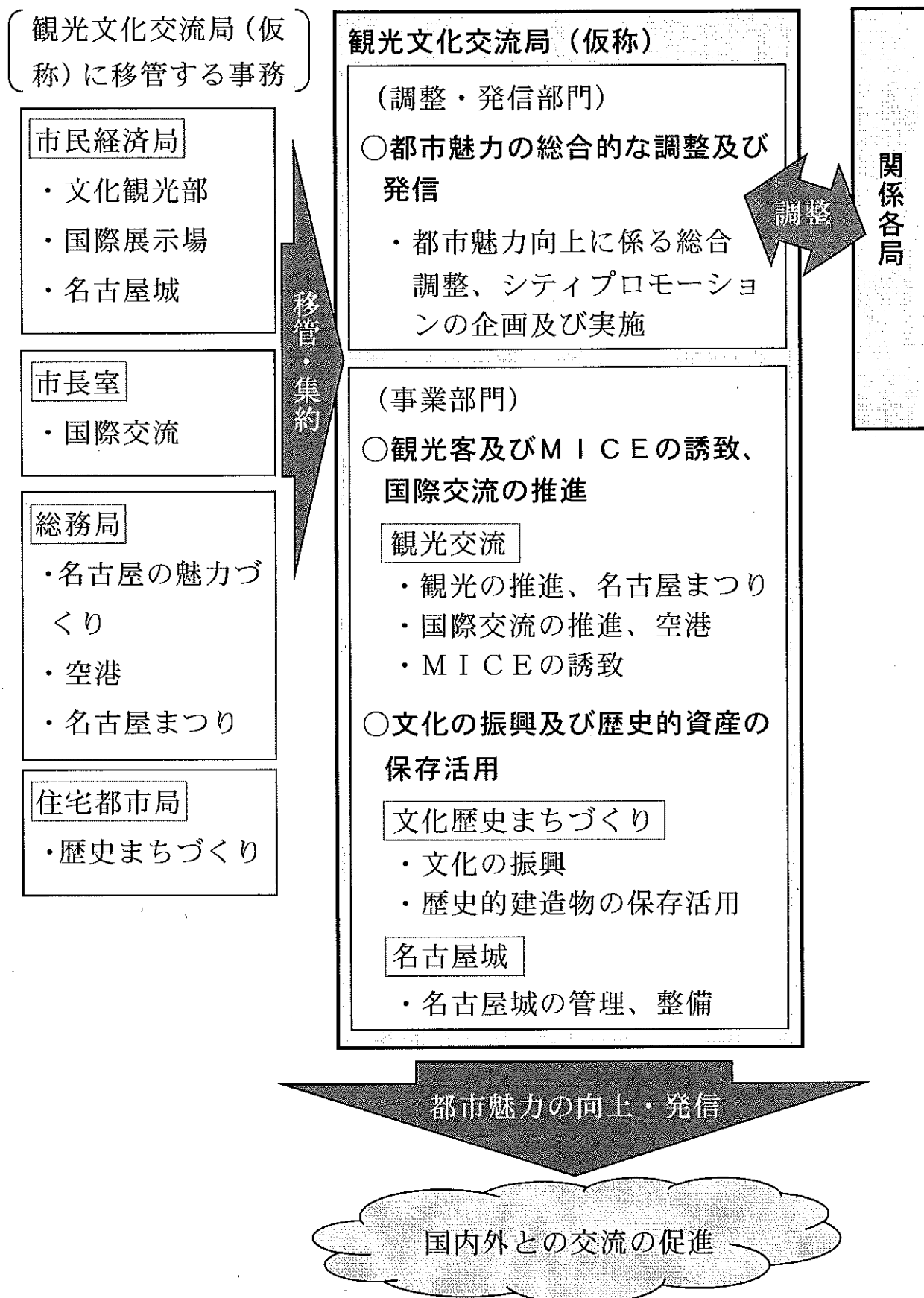
(4) 組織構成

都市魅力の調整・発信部門を設置するとともに、市民経済局文化観光部の移管を基本として、国内外との交流を促進するために、より効果的な部門を集約することにより、実効性のある組織とする。

(5) 設置時期

平成28年4月

2 所管領域・役割の概要



M I C E: 企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字のこと

3 組織イメージ

